

単元のねらいと子どもの実態等を踏まえ、 系統性を図った単元構想の工夫

単元構想の3つの視点

単元のねらい

子どもや地域、学校 の実態把握

目指す子どもの姿を 明確にした評価計画

単元のねらいを明確にするには？

- 学習指導要領を基に単元のねらい（単元の学習内容や育てたい資質・能力）を明確にとらえましょう。
特に学年間の系統性や単元間の関連性等をしっかりと把握することが大切です。
- 単元のねらいに迫るために、子どもが意欲的に取り組める順序やストーリー性のある単元計画を立てましょう。
- 単元や1単位時間のねらいに応じた適切な言語活動を設定しましょう。

実態を把握するには？

- 各種調査で学年、学級の様況や子どもたちの特性等をとらえましょう。
- 単元の学習内容に関するレディネステストやアンケート等で単元に関わる学習状況や既習事項をつかんで指導に生かしましょう。
- 普段の授業や生活から一人一人の興味・関心や学習への取組、つまずき等を予測しておきましょう。
- 地域の自然環境や社会的条件のよさを取り入れるようにしましょう。

目指す子どもの姿をとらえるには？

- 単元の学習内容を押さえた上で、学習後に子どもが何を身に付け、何ができるようになるのかを想定し、具体的に目指す子どもの姿をとらえましょう。
- 単元のねらいとの関連を図りながら、言語活動によって一人一人の子どもに身に付けさせたい力を明確にしましょう。
- どんな場面で、どのような方法で評価するのか、あらかじめ設定しておきましょう。



ぜひ、参考にしてください！

・小中学校学習指導要領解説（文部科学省）

・評価規準の作成評価方法等の工夫改善のための参考資料
（国立教育政策研究所）

単元計画を立てるときのポイント！！

教材研究により教材を吟味し、学習内容・方法等を工夫し、単元を構想します。

【具体的な教材研究】

- ・教材の選定
- ・教材の解釈、分析
- ・教材と身に付けさせたい力の関連
- ・単元での教材活用（何を、いつ、どこで）
- ・他教材との比較 等々

【ねらいに迫るための言語活動】

- ・子どもの実態、身に付けさせたい力を明確にする。
- ・身に付けさせたい力にふさわしい言語活動を選択する。
- ・言語活動を課題解決・課題追究の過程に位置付ける。
- ・思考や判断を促す発問や指示を具体化する。

学習内容の構造化と焦点化

学習内容の構造化と焦点化を図らないと実際の授業では学習内容が絞りきれずに、教師主導になってしまいます。構造化と焦点化のヒントは、学習指導要領解説の中にあります。

例えば、中学校社会科歴史的分野では、ねらいが「○○、○○などを通して、AがBであったことを理解させる」という学習の構造や焦点を明確にした表現になっています。AとBに深く関わる内容ほど十分な時間をかけて学習活動を工夫しましょう。

子どもが意欲的に取り組むストーリー性のある単元構想

＜中学校社会科(歴史的分野)の例＞ ☆ 歴史の大きな流れを理解することが大切です！

歴史的分野の学習では、学習内容の構造化と焦点化により、歴史の大きな流れを理解させることが大切です。焦点化された教材で「歴史の大きな流れ」を理解した生徒は、興味・関心が高まり、細かな学習事項についても意欲的に身に付けようとしています。

生徒は、歴史の大きな流れの中の事象に出会うことにより、追究意欲が高まったり、見通しをもったりする時があります。その意識を生かして、ストーリー性のある単元展開を構想することも可能です。その一例を紹介します。

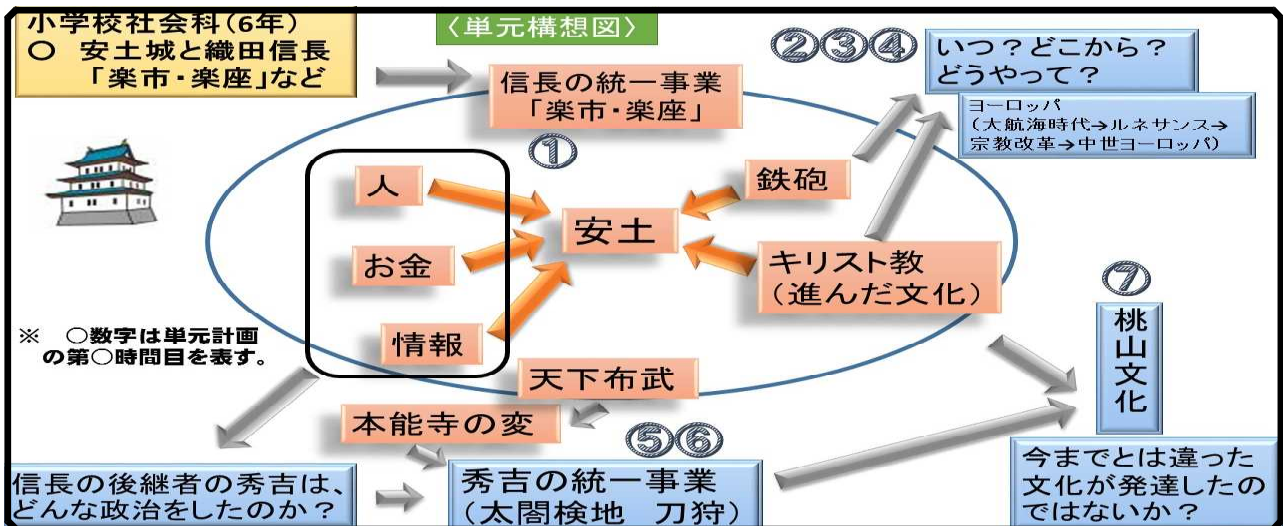
○ 単元名「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」

○ 単元のねらい

戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の発展などを通して、**近世社会の基礎が**つくられていったことを理解することができる。

この単元では、秀吉の太閤検地、刀狩の政策等により、近世社会の基礎(知行制や兵農分離)ができたことを理解できるようにする。

本単元の1時間目に、信長が安土を楽市・楽座にしたことにより集まった人材・情報・金・鉄砲等が天下布武に大きく影響したことを学習する。その上で、「これから学習したいこと」を話し合うことにより、ヨーロッパや秀吉の業績に目を向け、単元の見通し(ストーリー性)をもつことができるようにする。※教科書では③④②①⑤⑥⑦の順になっているものを組み替えた単元構想である。



○ 単元計画

	主な学習内容・学習課題
	○ 単元の導入(信長の統一事業) 「信長が安土を楽市・楽座にしたのはなぜか。」 ○ 単元の学習計画
①	・ 鉄砲やキリスト教はどこから? ・ ヨーロッパで何があったのか? ・ 信長の後継者秀吉の政治とは? ・ 信長、秀吉の頃の文化は?
②	○ ヨーロッパ人との出会い 「どこから鉄砲やキリスト教が日本に伝わったのか。どんな影響があったのか。」
③	○ ヨーロッパと外の世界 「ヨーロッパ人はどんな目的で世界に進出し、どのような影響を与えたのか。」
④	○ キリスト教世界とルネサンス 「なぜヨーロッパ人が大航海できるようになったのか。そのころのヨーロッパはどんな社会だったのか。」
⑤	○ 秀吉の統一事業
⑥	「秀吉はどのようにして天下を統一したのか。」
⑦	○ 桃山文化 「桃山文化はどんな文化なのかな。」

信長に対する興味・関心は非常に高いので単元の導入として扱い、生徒から出された疑問から単元の学習計画につなげる。

鉄砲とキリスト教伝来について写真や地図等の資料を活用し、当時の人々の驚き等の様子やその後の社会に与えた影響の大きさを実感できるようにする。

写真資料等を活用し、ヨーロッパ人の世界進出を可能にしたルネサンスや日本へのキリスト教伝来に深く関わる宗教改革について学習する。

コロンブス、ガマ、マゼランや香辛料等の資料を活用して、ポルトガルのアジア進出やスペインの南アメリカ等への進出について学習する。

秀吉が行った太閤検地と刀狩りの資料を活用し、近世の基礎ができたことを学習する。また、写真資料を活用し当時の文化について学習する。